

2012年7月19日(木)に

家庭教育学級『子どものメンタルケア講座』が行われました。

第3回目の家庭教育学級は、教頭先生、中野先生を講師にお迎えし、講話と演習を通して、子どもの健やかな成長をサポートしていく親の対応方法を学びました。

講座名 『子どものメンタルケア講座』

講師 会田照行教頭先生

中野比呂志教務主任

場所 会議室

第1部の中野先生の講話では、家庭教育学級の1回目と2回目のアンケートの中から、今後の学級の中で取り上げて欲しい内容としてあがっていた「学校と家庭のパイプ」、「学習習慣」、「言葉遣い」について、実体験を交えながらお話いただき、皆さん熱心に耳を傾けていました。



第2部の教頭先生の演習では SGE (Structured Group Encounter: 構成的グループ・エンカウンター) を通して、人間関係を学ぶ疑似体験をしました。この演習は大いに盛り上がり、皆さん楽しそうでした。



第2部のまとめとして、「親子関係が幸せになるXとYの法則」、「聴くことの大切さ」、「思いを伝える言葉—『私』メッセージ—」について教えていただき、子どもを一人の人間として尊重することが大切だということを学びました。



今までの、子どもへの声かけや、態度を振り返り、子どもの発達段階に合わせた接し方ができるように、日々心がけていきたいと思いました。